


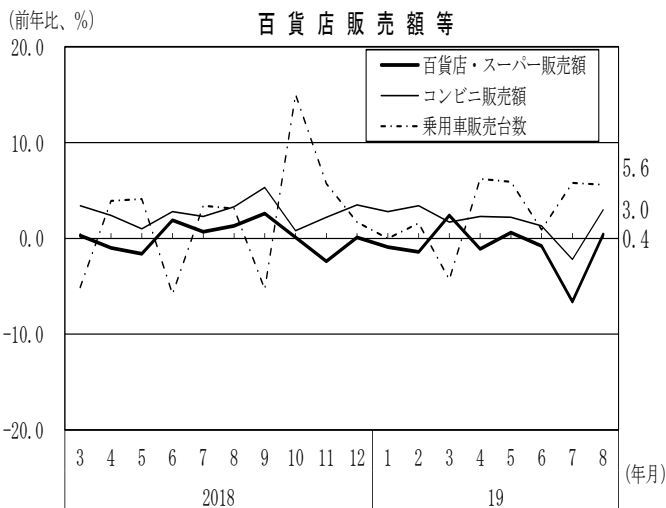
## ●最近の県内経済

**基調判断**  
(2019年8月を中心として)



**今月の概要**  
県内景気は、弱含んでいる。

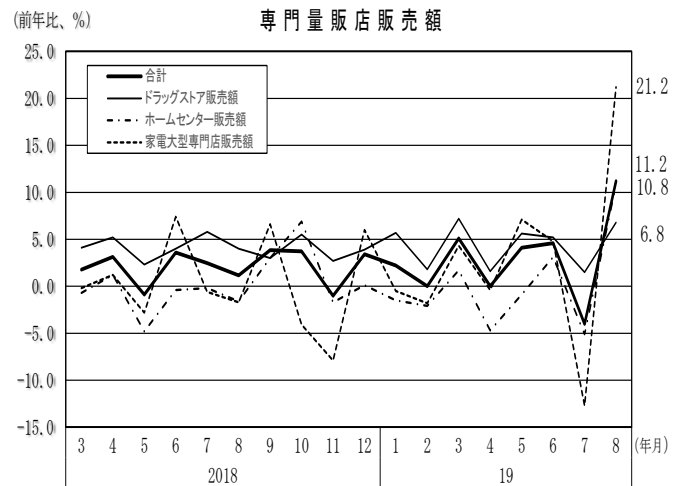
### 1 個人消費 持ち直し



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

8月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、817億円で前年比0.4%増と3か月ぶりの増加となった。百貨店が同2.4%減となる一方、スーパーは同0.9%増となった。コンビニ販売も同3.0%増と2か月ぶりの増加となった。

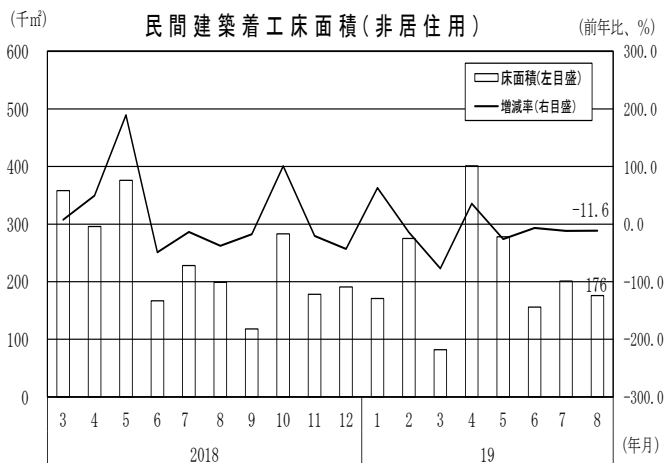
乗用車販売は、同5.6%増となった。内訳をみると、軽乗用車(同16.1%増)が、新車投入効果などから高い伸びとなったほか、普通車(同0.8%増)、小型車(同0.8%増)も、ともに増加した。



(資料) 経済産業省

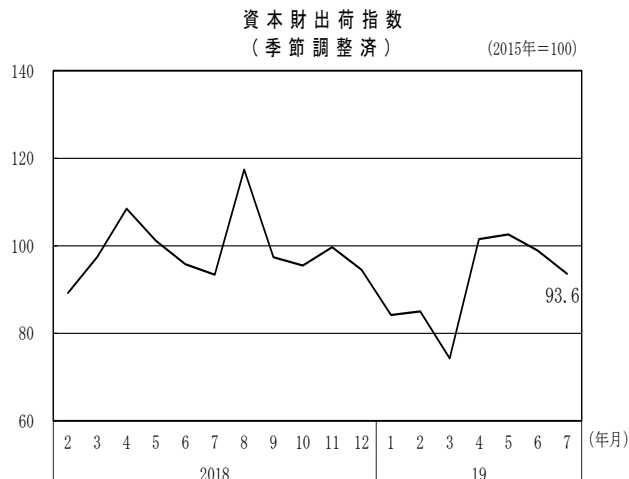
8月の専門量販店販売額は、695億円で前年比11.2%増と2か月ぶりの増加となった。内訳をみると、ホームセンターが177億円で同10.8%増、家電大型専門店が177億円で同21.2%増と、ともに2か月ぶりの増加となったほか、ドラッグストアも341億円で同6.8%増と堅調に推移している。

## 2 設備投資 弱含み



(資料)国土交通省

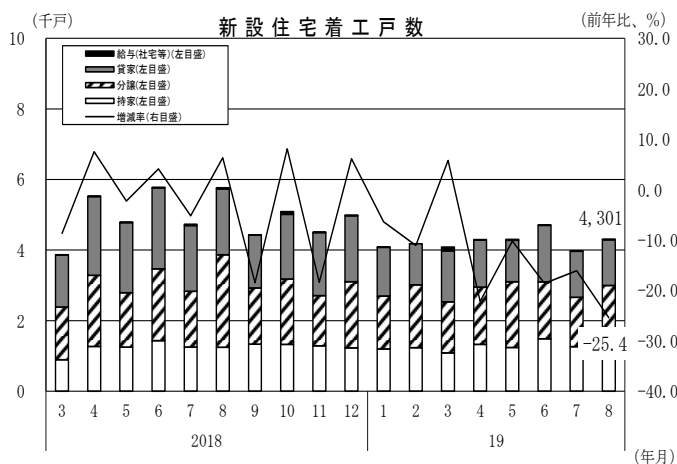
8月の民間建築着工床面積（非居住用）は、176千㎡で前年比11.6%の減少となった（年初来累計では同15.1%減少）。用途別にみると、事務所、店舗は増加したものの、工場及び作業場、倉庫が減少した。



(資料)埼玉県

7月の資本財出荷指数（季節調整済）は、93.6で前月比5.4%の低下となった（2か月連続の低下）。

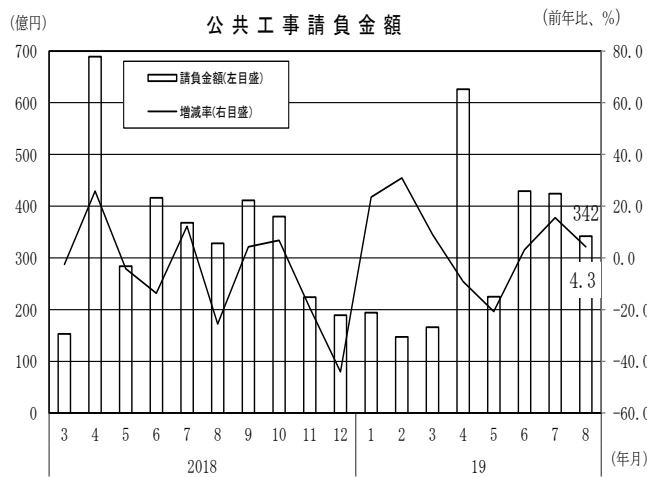
## 3 住宅建設 減少



(資料)国土交通省

8月の新設住宅着工戸数は、4,301戸で前年比25.4%減と5か月連続の減少となった（年初来累計では同14.1%減少）。利用関係別にみると、持家が1,282戸で同2.8%増となった一方、分譲マンションが467戸で同63.5%減と大幅に減少したほか、貸家が1,297戸で同30.5%減、分譲戸建ても1,233戸で同7.9%減と、いずれも減少した。

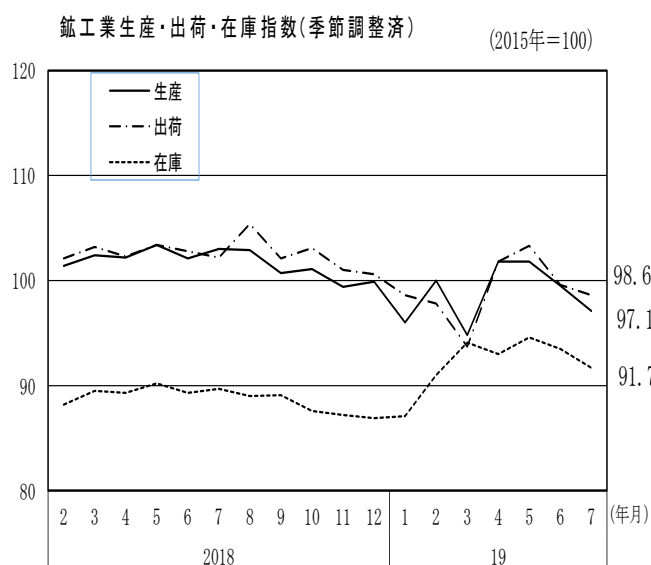
## 4 公共工事 横ばいの動き



(資料)東日本建設業保証株式会社

8月の公共工事請負額は、342億円の前年比4.3%増となった（年初来累計では同1.8%増）。8月単月を発注者別で見ると、市区町村が減少した一方、国、都道府県、独立行政法人等が増加した。

## 5 生産活動 一進一退

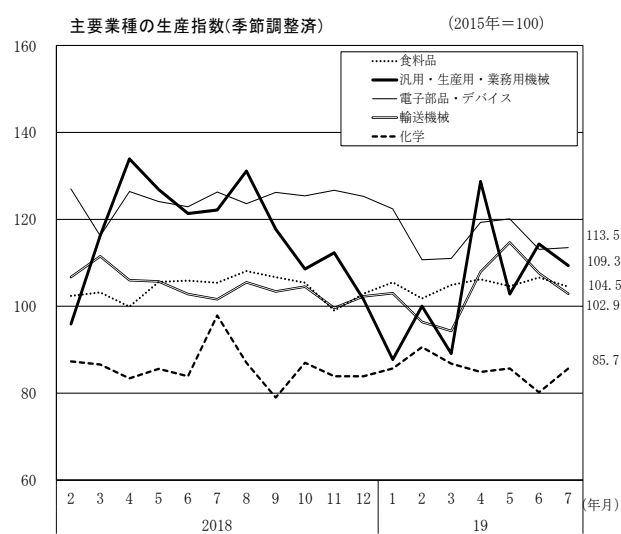


(資料)埼玉県

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、97.1で前月比2.4%低下した(2か月連続の低下)。化学(医薬品)、電気機械(電力変換装置)などが上昇したが、情報通信機械(カーナビゲーション)、業務用機械(医療用機械器具)、輸送機械(自動車エンジン)などが低下した。

出荷指数(同)は、98.6で同1.0%低下した(2か月連続の低下)。電気機械(電磁開閉器)、金属製品(スチール製缶)などが上昇したが、業務用機械(医療用機械器具)、情報通信機械(カーナビゲーション)、食料品(炭酸飲料)などが低下した。

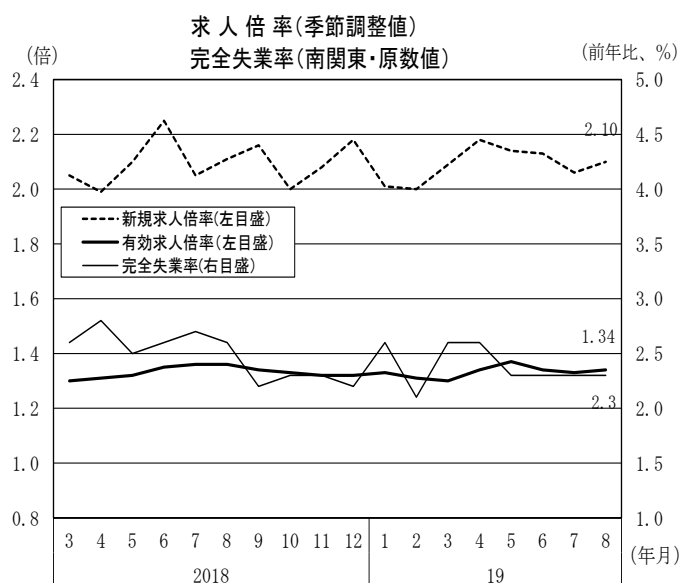
在庫指数(同)は、91.7で同1.9%低下した(2か月連続の低下)。化学(印刷インキ)、金属製品(スチール製缶)などが上昇したが、輸送機械(乗用車)、窯業・土石製品(セメント)などが低下した。



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、104.5で前月比2.0%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、109.3で同4.4%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は113.5で同0.4%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、102.9で同4.4%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 化学(同)は、85.7で同6.9%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

## 6 雇用情勢 着実に改善



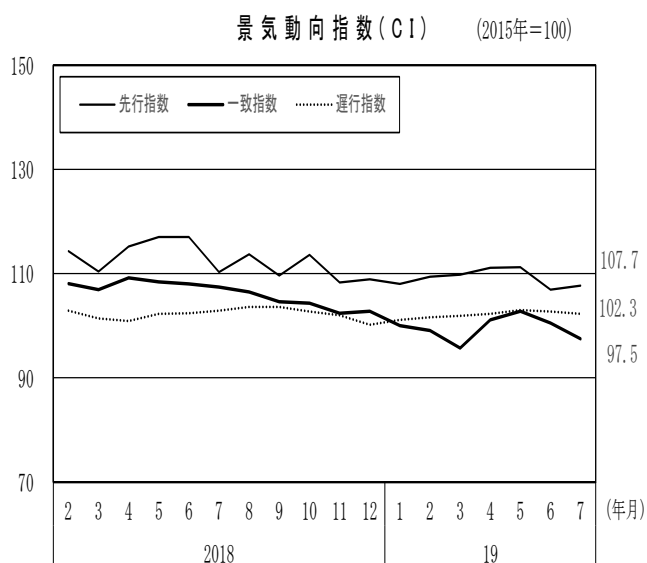
(資料)厚生労働省、総務省

8月の新規求人倍率(季節調整済)は2.10倍で前月比0.04ポイント、有効求人倍率(同)は1.34倍で同0.01ポイント、ともに上昇した。

完全失業率(南関東、原数値)は、前月比横ばいの2.3%と低水準で推移している。

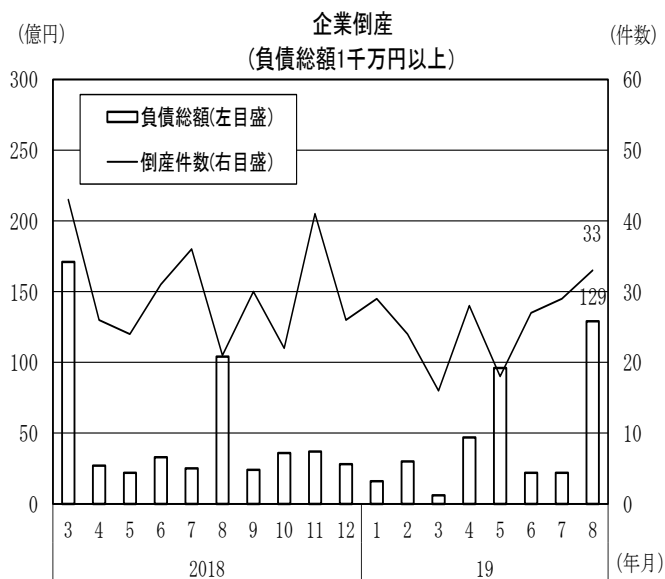
## 〈参考〉

### 景気動向指数(CI) 下げ止まりを示している



(資料)埼玉県

## 7 企業倒産 件数、金額とも増加



(資料)帝国データバンク

8月の企業倒産件数は、33件で前年比12件の増加、負債総額も、大型倒産の発生から129億円で同25億円の増加となった。

業種別にみると、小売業が7件で最も多く、次いで建設業と卸売業がそれぞれ6件、サービス業が5件となっている。主因別では、販売不振が25件で最も多くなっている。

7月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、97.5で前月比3.0ポイント低下し、2か月連続の低下となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、107.7で同0.8ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、102.3で同0.4ポイント低下し、2か月連続の低下となった。